

◆就活は自分たちのデザインしたオリジナルスーツで

入学してすぐに就職のことを意識しなければならない短大生は、自分自身が大学生活の中でどのようなことを得たのかを振り返る前の段階で就職活動を行わなければなりません。

女子短期大学部では、服装も社会人のマナーととらえ、就職活動を主体的に取り組めるよう学生自身でリクルートスーツをデザインする「カレッジスーツプロジェクト」を企画しました。このプロジェクトは、キャリアデザイン学科専門科目「ビジネスマナー概論」(担当:土方直子講師)の授業の一環として、大丸百貨店札幌店の協力のもと実施されるものです。

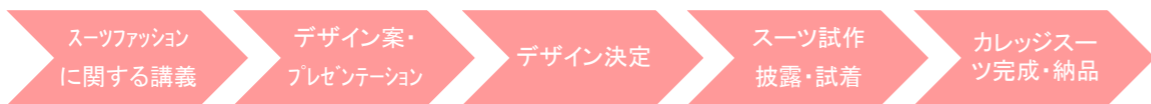
スーツをデザインするにあたって、大丸百貨店の営業1部長 卯本健氏から、まずはレディーススーツの歴史やスタイル、昨今のリクルートファッション事情などのスーツにおける基礎的な知識を学び、デザイナーの森下恵氏からはデザインの考え方について教えていただきました。卯本氏は、「リクルートスーツでは、個性を出すことが難しい部分もあるが、自分らしさを考えながら、発想することを通してファッションを楽しんでほしい」と学生たちを激励しました。



学生40人が6グループに分かれてリクルートスーツのデザインを考案し、6月18日(火)にプレゼンテーションを行いました。各グループから「スマートフォンやメモ帳などが入る深めのポケットにする」「足が長く見えるよう上着の丈を短くする」「女性らしさを出すためピンク色のボタンをアクセントにする」「裏地柄にこだわる」などの提案がありました。

森下氏に各デザイン画をチェックしていただき、2グループの考案したデザインに絞りました。

6月25日(火)には、森下氏によって完成されたデザイン画2案が発表され、学生たちの投票の結果、カレッジスーツプロジェクトの記念すべき第1号のデザインが決定しました。



今回決定したデザインをもとに7月16日にスーツの試作が披露され、サイズ合わせを行います。初めてスーツデザインに挑戦した学生たちは、「グループでの話し合いがなかなか進まない、上手くまとまらないなど苦労したが、良い経験になった」「服装について色々細かなことを知ることで、ファッションに興味を持てるようになった」「このスーツを着て、みんなで就活をがんばりたい」とものづくりの喜びを感じながら、10月下旬の納品を楽しみにしていました。

◆料理研究家星澤幸子先生による講演・料理実演会

5月31日(金)、テレビでお馴染みのクッキングキャスター 星澤幸子氏を講師におむかえして講演と料理実演会を開催しました。

この講演・実演会は、キャリアデザイン学科専門科目「地域社会実習B」(担当:ダイアン・ブラウン准教授)における体験プログラムの一環として行われ、女子短期大学部の学生49人が参加しました。

「食は夢のかけ橋」と題して行われた講演では、食育紙芝居を使いながら、地産地消から健康的な食生活、食文化への理解などについてユーモアを交えながらお話いただきました。

料理の実演では、地域の食文化を反映しやすい炊き込みご飯を作っただき、最後に全員で試食しました。

参加した学生たちは、「健康な生活を送るためには食事が重要であることを実感した」「日本食の素晴らしさを改めて知った」「バランスのとれた食事を摂取するように心がけたい」などと感想を述べ、料理の楽しさを知ることはもちろんのこと、食生活を考える機会となりました。



☞お知らせ 学生生活の目標を明確にするために短大スタッフとの「キャリア面談」を実施中です。今月末には、初めての定期試験があります。

◆カレッジスーツプロジェクトを進めるにあたって

まだ高校生気分抜けきらない学生たちに、どうしたら、社会に出ること、そしてその準備をすぐに始めなければいけないということ意識化できるか...。これが、短大のCOO(最高執行責任者)を引き受けて以来、私の課題の一つでした。そんな中、『カレッジスーツプロジェクト』が頭に浮かんだのです。

リクルートスーツを自分たちでデザインする...これに勝る意識化の方法があるのでしょうか。実際、素敵なデザイン画を見た時、「これを着て就活したい」という声があちこちから聞こえ、本当に嬉しくなりました。

このプロジェクトは、多くの人々に知られれば知られるほど、実際の就活の際に有利に作用します。ですから私自身も、経済界の方々とお目にかかる様々な機会に着用し、学生たちをPRしようと思っています。どうか、ご家族の皆様も、このプロジェクトがどんなに楽しく素敵か、周囲の方々にお伝えくださいますようお願いいたします。

札幌大学女子短期大学部 COO(最高執行責任者) 本田 優子